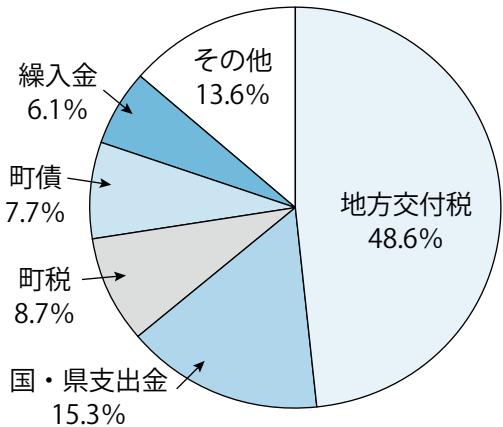


知っているようで知らない「歳入」の話

～町を支えるお金はどこから来たの？～

令和7年度、私たちの町には1年間で一般会計162億6,102万円のお金が入ってきました。一見複雑に思える自治体の予算や決算ですが、その構造は意外にもシンプル。町に入ってくるお金の約8割は、次の5つの財源で構成されています。下の円グラフと一覧表を見ながら、町を支えるお金の仕組みを一緒に紐解いていきましょう！

財 源	決 算 額	割 合
① 地方交付税	79億37万4,000円	48.6%
② 国・県支出金	24億8,233万4,467円	15.3%
③ 町 税	14億1,875万486円	8.7%
④ 町 債	12億5,940万円	7.7%
⑤ 繰 入 金	9億9,675万9,820円	6.1%
⑥ そ の 他	22億340万4,359円	13.6%
合 計	162億6,102万3,132円	



【未来へつなぐ投資のため】

④ 町債

- ・学校の改修や道路、避難所の整備など、将来にわたり長く使い続ける施設を作るために一時的に借りた「町の借金」です。
- ・将来返すお金であっても、建設するその瞬間には「今年度使える現金」として町のお財布に入ってくるため、住宅ローンと同じ仕組みで歳入として記録します。
- ・今の住民だけでなく、将来その施設を使う子どもや孫の世代にも公平に費用を負担してもらうための前向きな仕組みです。

【計画的に使うための町の貯金】

⑤ 繰入金

- ・財政調整基金のほか、高校生までの医療費助成や学校給食費無償化のために積み立てた基金、ふるさと納税などを積み立てた基金から取り崩したお金です。
- ・過去に大切に蓄えてきた財源を今年度の住民サービスや大規模事業に計画的に有効活用したものです。

【町を支える様々な収入】

⑥ その他

- ・前年度から引き継いだ残金（繰越金）、諸収入、地方消費税交付金、施設の使用料や手数料、全国から応援いただいた寄附金・ふるさと納税などが含まれています。

何度も「補正予算」を組んだ理由。当初の計画と最終決算の話

～決算書から見た、支出の気になるギモン～

年度がスタートしてから、途中で「補正予算」の審議を何回か行いました。それは、計画通りにいかないこともあれば、突発的に必要になる事業もあるからです。最終的に町のお金はどう使われて、当初の予算とどう変わっていったのか見ていきましょう。

令和7年度歳出の当初予算と決算の比較

- ・当初予算額：154億2,500万円
- ・最終的な予算額：168億2,676万8,000円
- ・決算額：156億1,456万5,942円

令和7年度決算から、私たちの生活や安全に直結する、特に身近で知ってほしい「3つの注目ポイント」をピックアップしてご紹介します。



ギモン① どんなことにお金を使ったの？

【暮らしと子育てを守る】

- ・物価高騰対策こども子育て世帯応援事業など、急激な物価高騰から家族の生活を守るための支援を行いました。

【地域の医療を守る】

- ・私たちの命を守る町立病院・医院（病院事業特別会計）の運営や救急体制を維持するため、必要な資金を支援しました。

【未来の災害に備える】

- ・災害の発生や急激な経済情勢の悪化、不測の事態に備えるための「財政調整基金」など、この町のこれからの課題や安心を支えるための「大切な備え（貯金）」として、積み立てることができました。

ギモン② 借金は、問題なく返済してるの？

- ・令和7年度、新しくお財布に入れた町債（町の借金）は12億5,940万円です。しかし、町債の返済（公債費）を見ると、それを上回る18億754万6,374円をしっかりと返済しています。

ギモン③ 歳入と歳出の差額、余ったお金はどうなるの？

【実質収支額】

- ・1年間の収入総額（歳入）から支出総額（歳出）を差し引いた残りから、さらに『翌年度に繰り越して使うことが決まっている具体的な事業費（繰越明許費や事故繰越額）』を除いた、純粋な黒字・赤字の額のことです。
- ・令和7年度は黒字決算となり、剰余金（余ったお金）は次の年の歳入予算（繰越金）に入り、財政調整基金に積み立てたり、各種事業を実施するために使われます。

【一番大きな財源】

① 地方交付税

- ・全国のどこの自治体に住んでいても、住民のみなさんが一定の行政サービスを受けられるよう、国が地域間の税収の偏りを調整して配分するお金です。
- ・国が代わりに集めた税金（所得税や消費税など）の一部が元になっています。
- ・町が使い道を自由に決められる、本町の財政を支える最大の柱です。

【特定の事業を支える補助金】

② 国・県支出金

- ・町が行う特定の事業をサポートするために、国や県から「使い道を指定して」交付される補助金です。
- ・子育てや高齢者福祉などの給付金、学校の改修や道路整備、災害復旧といった大きな工事などに対して、その費用の一部を国や県も負担しています。

【皆さんが納めた大切なお金】

③ 町税

- ・皆さんが納めている住民税や固定資産税、軽自動車税など、町が自力で集めることができる「自前の財源」です。
- ・使い道の自由度が高く、町独自のサービスや身近な課題にダイレクトに活用できる大切なお金です。